

田んぼの雑草発生を抑えるロボットの実演会

新潟市では、環境にやさしい栽培技術と先端技術等を活用した省力化に資する技術を組み入れた新たな栽培体系（グリーンな栽培体系）の取り組み拡大を図るため、趣旨に賛同いただける農業者や企業の皆様と「新潟市農業SDGs協議会」を設立しました。

新潟市農業SDGs協議会では、自動抑草ロボット（アイガモロボ）を活用することで、化学農薬の使用量を削減する栽培方法を検証します。[別紙1 事業概要](#)

この取り組みを広く市内農業者に情報発信したく、下記のとおり実演会を開催いたしますので、広報にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 日時：令和4年 **5月16日**（月）
10:30～11:30（10:15受付開始）
※雨天の場合、中止

- 会場：有限会社 米八 圃場（新潟市南区内）
[別紙2 案内図](#)参照

- 内容：協議会の検証作業（自動抑草ロボットの入水）を実演 **県内初！！**



写真：井関農機(株)ホームページより

- 取材申込：当日現地取材いただける場合は、会社名、参加予定人数、代表者氏名・連絡先を、5月13日（金）午後5時までにE-mailにより下記問い合わせ先までお知らせください。（FAXによるご連絡でも対応可能です。）

【問い合わせ先】

新潟市 農林水産部 農林政策課 佐藤・松川
電話：025-226-1761 FAX：025-226-0021
E-mail：nosei@city.niigata.lg.jp

新潟市農業SDGs協議会について

●設立趣旨 全国1位の水田面積を有する新潟市では、SDGsの達成を目指し、水稻栽培における環境負荷軽減に向けた取り組みを進めています。広大な水田における化学農薬（除草剤等）を使わない栽培体系では、雑草の管理が難しく、これを効率化できれば、有機農業や特別栽培の面積拡大が期待できます。

当協議会は、自動抑草ロボを活用することで雑草管理を効率化し、グリーンな栽培体系を確立する実証に取り組みます。

●組織体制



●実証内容

自動抑草ロボによる
水田雑草対策実証

自然栽培での雑草管理労力削減
慣行栽培での農薬散布量削減



水位・水温センサーによる
遠隔水管理技術実証

自動抑草ロボのための水深確保



営農管理システムによる
**栽培履歴のデジタル化
農業者間データ活用**

データに基づく農業経営管理
グリーンな栽培のノウハウ伝承



別紙2 案内図

